



2010年3月期第2四半期  
決算説明資料

クルーズ株式会社（2138）

# Till アジェンダ

- ① 会社概要、サービス紹介、ビジネスモデルと強み
- ② コンテンツ会員数の推移
- ③ 第2四半期業績ハイライト
- ④ 連結四半期業績推移、主な費用
- ⑤ 連結四半期貸借対照表
- ⑥ 連結四半期キャッシュフロー
- ⑦ 連結従業員の推移（雇用形態別）
- ⑧ 有料コンテンツのサービス紹介
- ⑨ CROOZブログのサービス紹介
- ⑩ 今期の基本方針、重要方針
- ⑪ 通期業績の見通し、業績進捗
- ⑫ 株主還元方針、配当額の推移



# Till 会社概要

ブログやSNS、ゲームからショッピングまで幅広く  
モバイルインターネットコンテンツを提供する  
モバイルエンターテインメント企業です。

社名 : クルーズ株式会社 (証券コード: 2138 大証ヘラクレス)

所在地 : 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

設立 : 平成13年5月

資本金 : 320百万円

社員数 : 87名※役員含む

本体事業 : モバイルエンターテインメント事業  
(1) モバイル無料コンテンツの運営  
(2) モバイル有料コンテンツの運営  
(3) モバイルショッピングサイトの運営

連結事業 :

- ・モバイルインターネット広告代理業 (100%子会社: 株式会社アドエージェンシー)  
※2009年10月31日をもって当社に吸収合併をいたしました。

※上記、9期9月末時点の状況となります。

# Till サービス紹介

大きく分けると無料コンテンツと有料コンテンツとショッピングサイトの3ジャンルがあります。

## 無料コンテンツ



- ・ 月間15億PVを誇る「CROOZブログ」
- ・ ソーシャルゲームサイト「スローライフ」
- ・ 集客プラットフォームとしての位置づけ

## 有料コンテンツ



- ・ ゲームコンテンツ「プチゲームDX」等
- ・ 女性向けコンテンツ「デコメフレンズ」等
- ・ 4Cプログラムを開始（焦点絞込戦略、選択と集中戦略）

## ショッピングサイト



- ・ CROOZブロガーが企画したオリジナル商品を販売
- ・ 新規サイト「CROOZオークション」を開始

# Till ビジネスモデルと強み

無料コンテンツで集めた会員を、  
有料コンテンツやショッピングサイトへ誘導し、  
会員の回遊を目指すことで収益拡大を加速いたします。

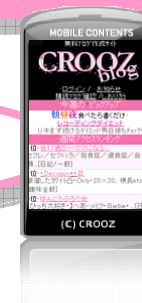
ターゲットニーズのデータベースから商品開発し、  
ターゲットユーザーに配信できるプラットフォーム

=

1ユーザーであるトップブロガーが、ユーザーのために商品を開発し、  
ユーザーに届けられる仕組みを持っているというすごさ

無料会員**320万人**

無料ブログ作成サイト「CROOZブログ」、ソーシャルゲームサイト「スローライフ」など



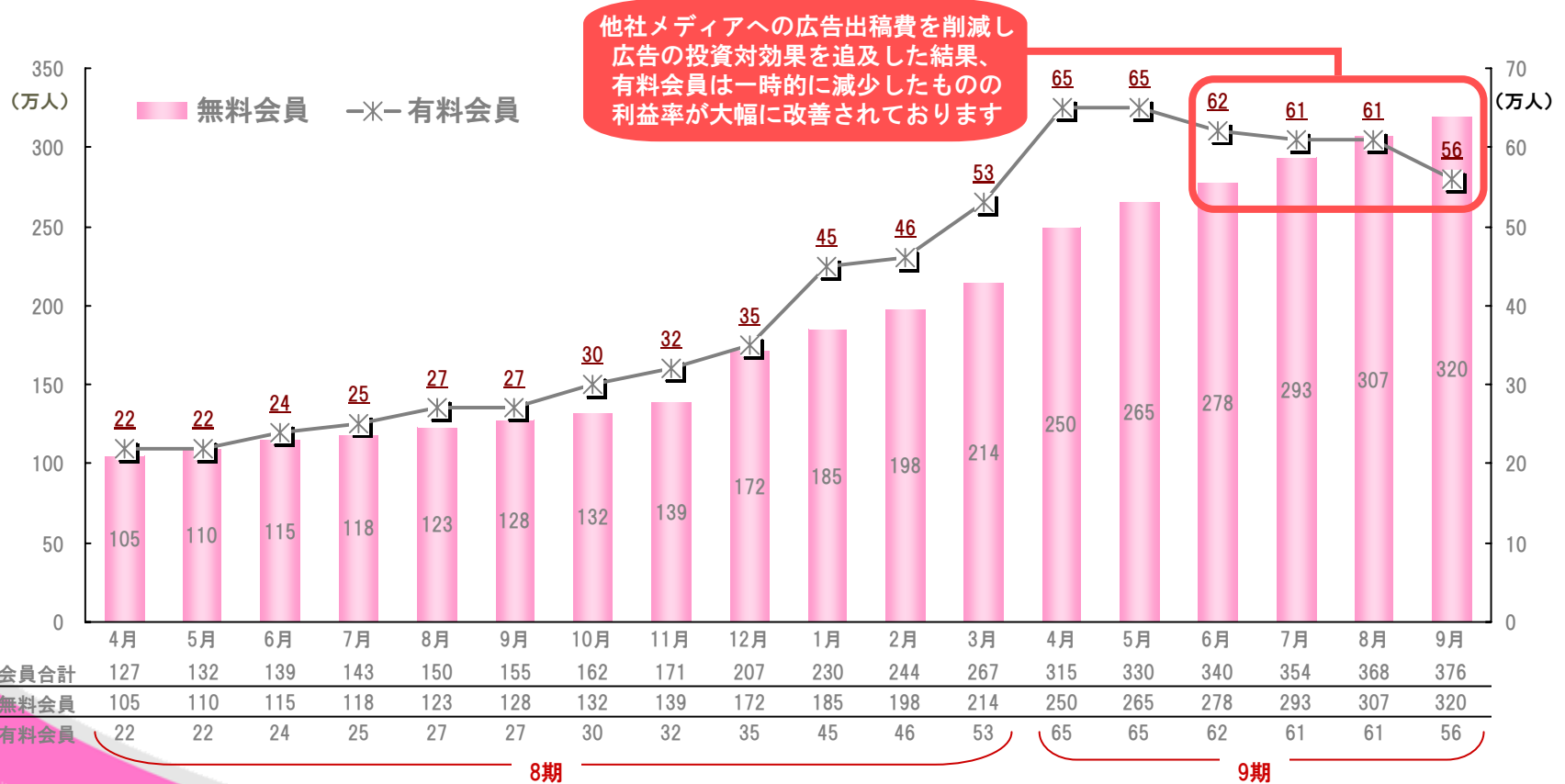
有料コンテンツ、ショッピングサイト 有料会員**56万人** サイト数**77**  
ゲーム、デコメ、きせかえ、マチキャラ、女性向け情報サイトなど



※9期9月末時点の会員数、サイト数を記載しております。

# Till コンテンツ会員数の推移

無料会員が320万人を突破。無料コンテンツから有料コンテンツへユーザーが流れることで有料会員も増加しております。



※無料会員は、CROOZブログ、CROOZリアル、CROOZプロフ、スローライフの会員数になります。  
 ※有料会員にスローライフの有料会員は含まれておりません。

# Till 第2四半期の業績ハイライト

前年同期比増収増益を達成。利益率の高い有料コンテンツとCROOZブログの成長が大きく起因しております。

## 第2四半期 業績実績

売上高	931百万円	1.2倍(前年同期比)
営業利益	157百万円	2.4倍(前年同期比)
経常利益	155百万円	2.4倍(前年同期比)

## コンテンツサービス

有料コンテンツ会員数	56万人	2.1倍(前年同期比)
------------	------	-------------

▶ 資本効率の最大化を方針に掲げ、4Cプログラムを開始  
焦点絞込戦略、選択と集中戦略を実施し利益率が向上

## プラットフォームサービス

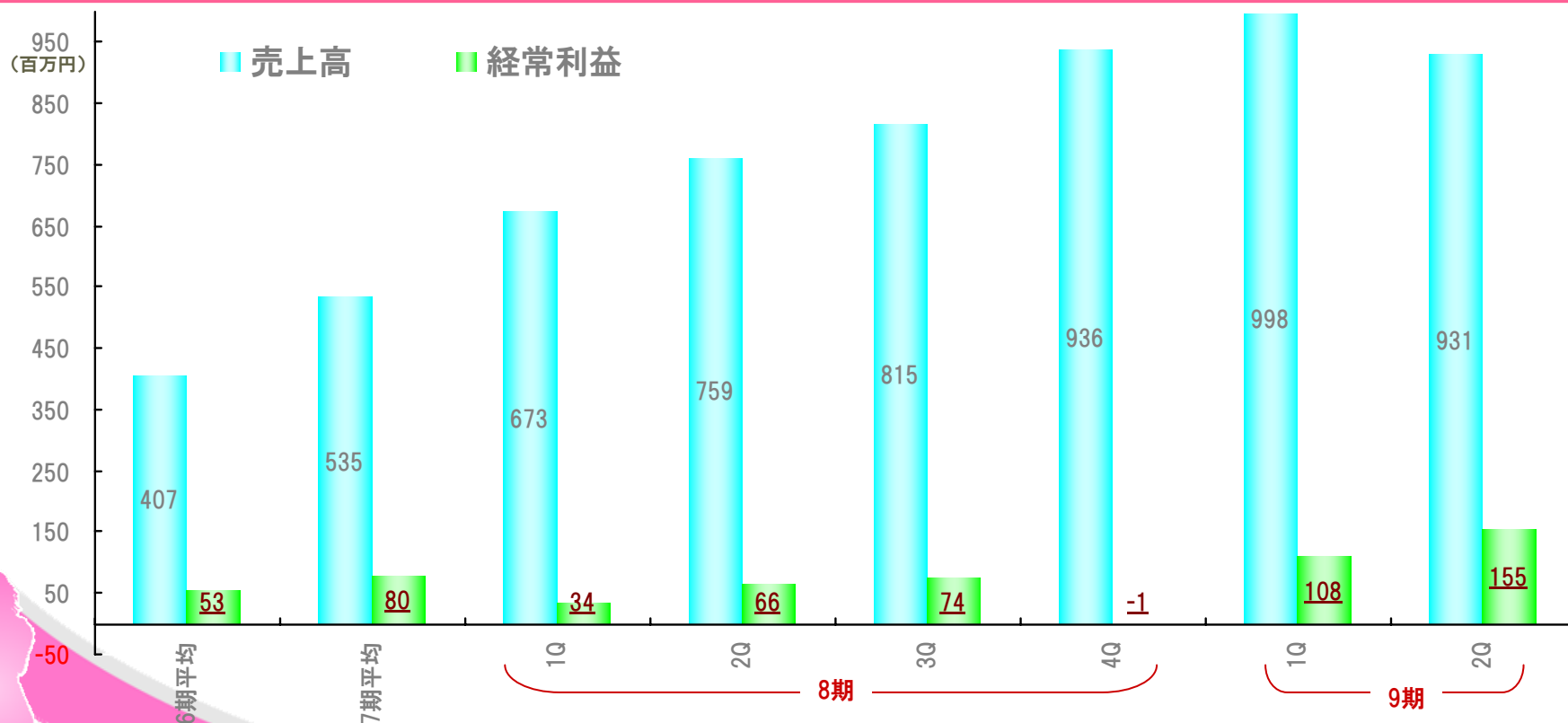
CROOZブログPV数	月間15.1億PV	3.0倍(前年同期比)
CROOZブログ会員数	205万人	5.7倍(前年同期比)

▶ CROOZブログが引き続き大きく成長

※前年同期比はモバイル事業のみで比較しており、人材事業の株式会社ベインキャリアの実績は除いております。  
※前年同期比は、小数点第2位を四捨五入をしております。

# Till 連結四半期の業績推移

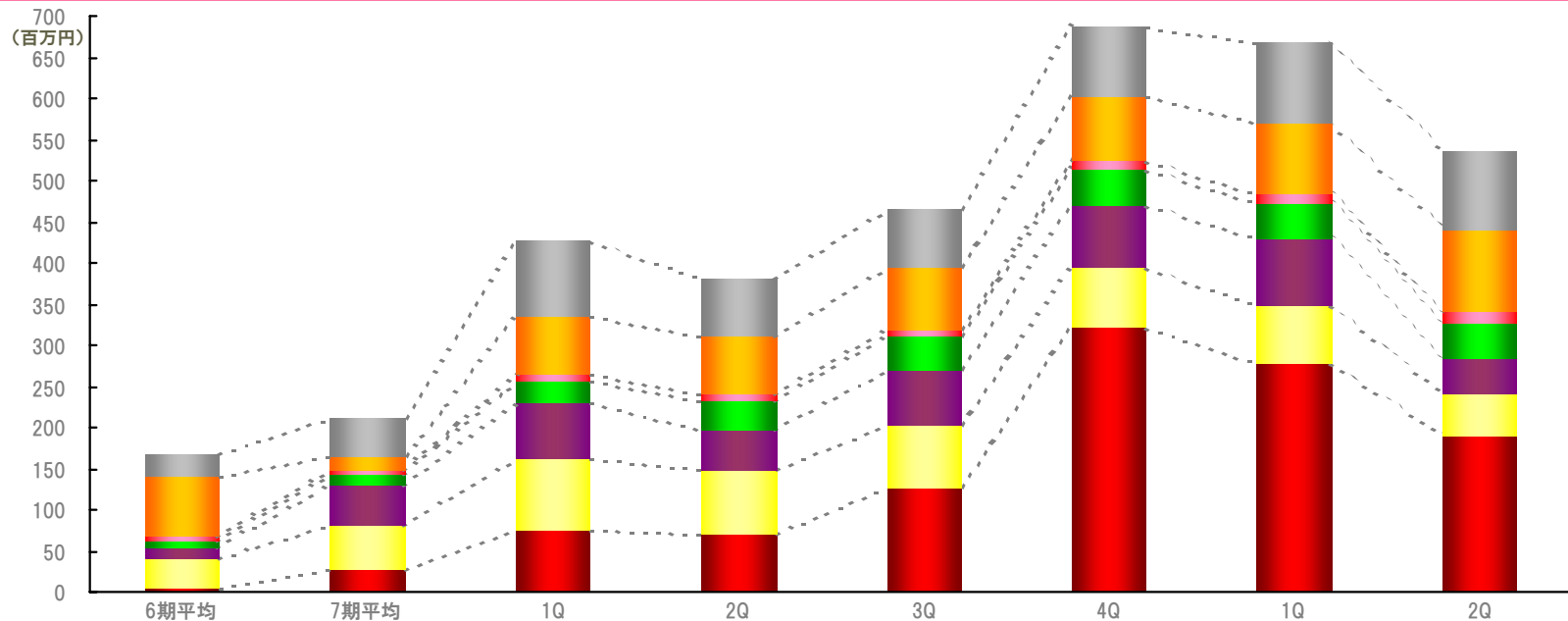
当四半期は4Cプログラムを徹底し実践しました。  
利益率の低いサービスを縮小・撤退することで売上高は減少  
しておりますが、過去最高の経常利益を達成しました。



※6期～8期はモバイル事業のみの業績となり、人材事業の株式会社ベインキャリアジャパンの業績は除いております。

# Till 主な費用

期待する収益性を下回る広告宣伝を停止。  
当四半期は、広告宣伝費を大きく削減しました。



	6期平均	7期平均	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
■ 外注費	25	46	94	69	72	84	98	95
■ 労務費	74	17	68	70	74	80	87	99
■ リース料 (原価)	4	5	9	9	9	11	9	13
■ 減価償却ソフト他	8	14	27	35	39	44	44	44
■ 他勘定振替	15	49	67	49	69	75	82	43
■ 人件費 (販管費)	35	53	86	78	75	73	69	51
■ 広告宣伝費原価	5	27	76	71	127	321	279	190

※6期～8期はモバイル事業のみの費用となり、人材事業の株式会社ベインキャリアジャパンの費用は除いております。  
※8期～9期2Qの広告宣伝費は連結消去前の実績を記載しております。

# Till 連結四半期の貸借対照表

(百万円)	9 期 第2 四半 期末	8 期 第4 四半 期末	増	減	主 な 内 容
流動資産	1,444	1,963		-519	・子会社株式の譲渡等による売掛金の減少261百万円及び 現預金の減少300百万円
固定資産	340	685		-344	
有形固定資産	25	45		-20	
無形固定資産	174	529		-355	・ソフトウェア等の除却および減損処理による無形固 定資産の減少354百万円
投資その他の資産	141	111		31	
資産合計	1,785	2,648		-863	
負債合計	1,015	1,735		-719	・子会社株式の譲渡等による買掛金の減少490百万円 ・短期借入金の返済による減少200百万円
純資産合計	769	913		-144	・四半期純損失による利益剰余金の減少146百万円
負債純資産合計	1,785	2,648		-863	

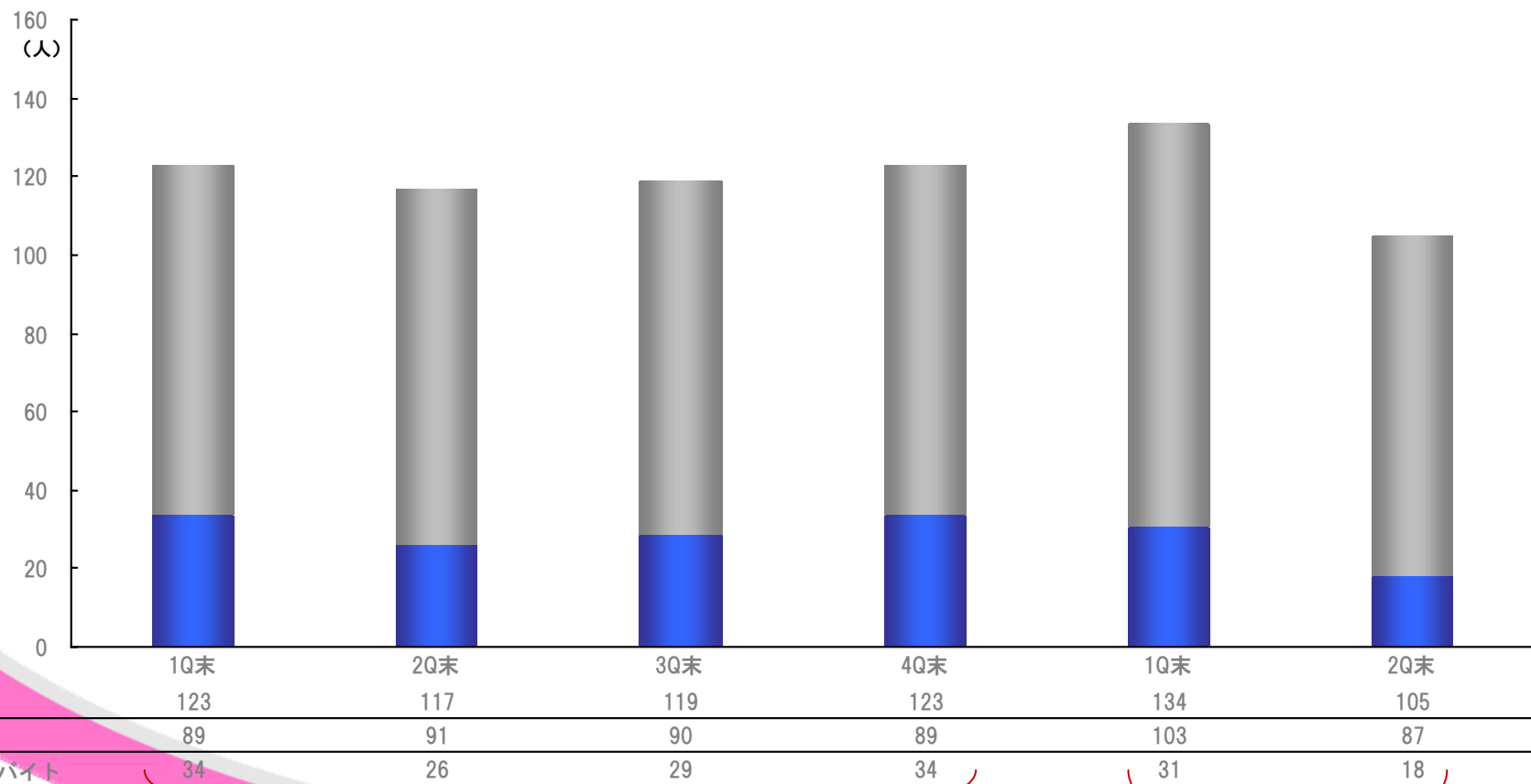
# Til 連結四半期のキャッシュ・フロー

(百万円)	9 期 第2四半期	9 期 第1四半期	増	減	当四半期におけるキャッシュ・フローの主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	125	6		119	・税金等調整前四半期純損失が271百万円であったものの、固定資産除却損及び減損損失の増加額407百万円、売上債権の減少額56百万円等が発生
投資活動による キャッシュ・フロー	11	-221		232	・敷金保証金の返還による収入59百万円 ・無形固定資産の取得による支出47百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	2	-224		227	・新株予約券の発行による収入2百万円
現金及び現金 同等物の四半期末残高	721	582		139	



# Tall 連結従業員数の推移 雇用形態別

4Cプログラムのルールに則り、C3に属するコンテンツの撤退・再編に伴い従業員は減少しております。



8期

9期

※8期はモバイル事業のみの人員となり、人材事業の株式会社ペインキャリアジャパンの人員は除いております。

# Till 有料コンテンツのビジネスモデル

モバイルユーザー

当社無料コンテンツ

CROOZブログ  
スローライフ

ユーザー属性、ニーズに  
合致したコンテンツを提供

有料課金収入

キャリアポータル

iモード  
Ezweb  
Yahoo!ケータイ

有料コンテンツを量産化  
相互リンクでユーザーを回遊

有料課金収入

当社有料コンテンツ

会員データベースの蓄積 ⇒ さらにユーザー満足度向上に努める



# Till 有料コンテンツの提供サービス

成長市場であるゲームや女性向け有料コンテンツに注力し、新規顧客獲得、既存顧客の回遊を行っております。

▼モバイルコンテンツの 카테고리別売上高推移 ※塗り潰し→当社参入コンテンツ

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
着うた	201	562	759	1,074	1,190
ゲーム	412	589	748	848	869
着メロ	1,167	1,048	843	559	473
電子書籍	3	16	69	221	395
待受系	225	236	248	227	229
交通情報	-	74	125	164	206
占い	103	123	158	182	200
デコメール	2	14	55	116	171
アバター/アイテム販売	-	-	5	60	157
メロディコール	6	13	29	87	110
天気/ニュース	-	51	63	73	78
生活情報	-	27	45	54	77
きせかえ	-	-	3	23	64
その他	484	397	516	584	616
合計	2,603	3,150	3,666	4,272	4,835



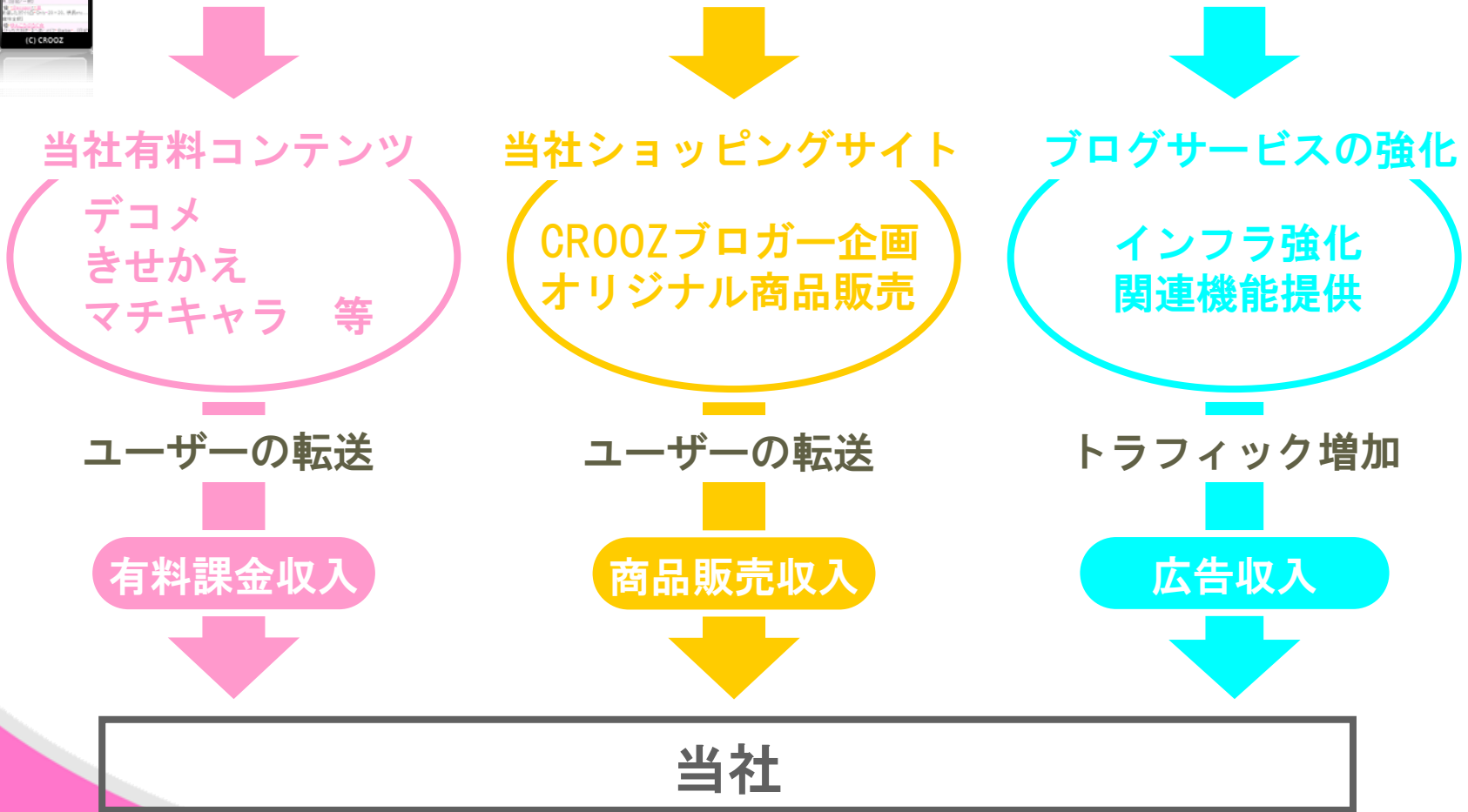
※参考：モバイルコンテンツフォーラム発表統計データ「2008年モバイルコンテンツ関連市場規模」



# Till CROOZブログのビジネスモデル



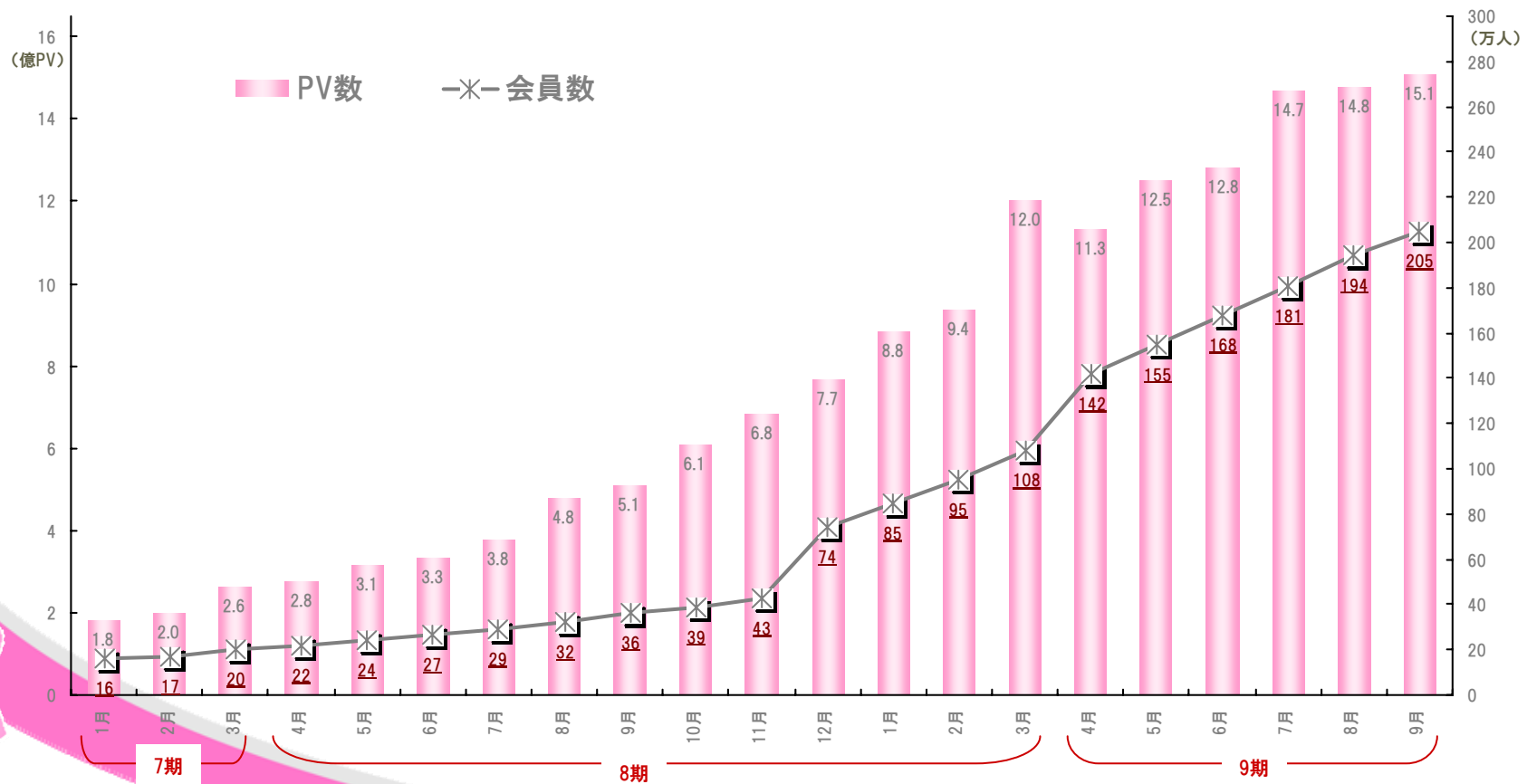
CROOZブログ



会員データベースの蓄積 ⇒ さらにユーザー満足度向上に努める

# Till CROOZブログのPV数と会員数の推移

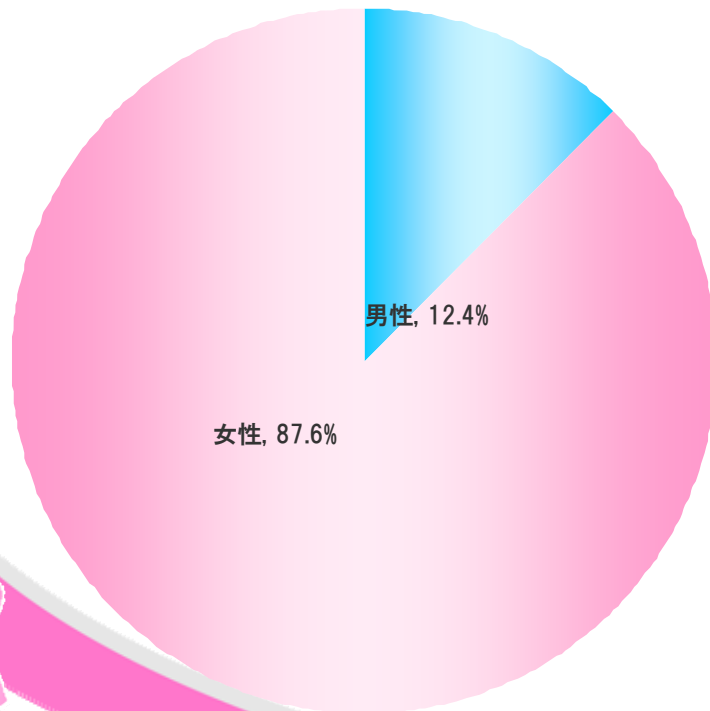
PV数、会員数ともに携帯専用ブログとして日本最大規模に成長し、次世代メディアの主役に近づいています。



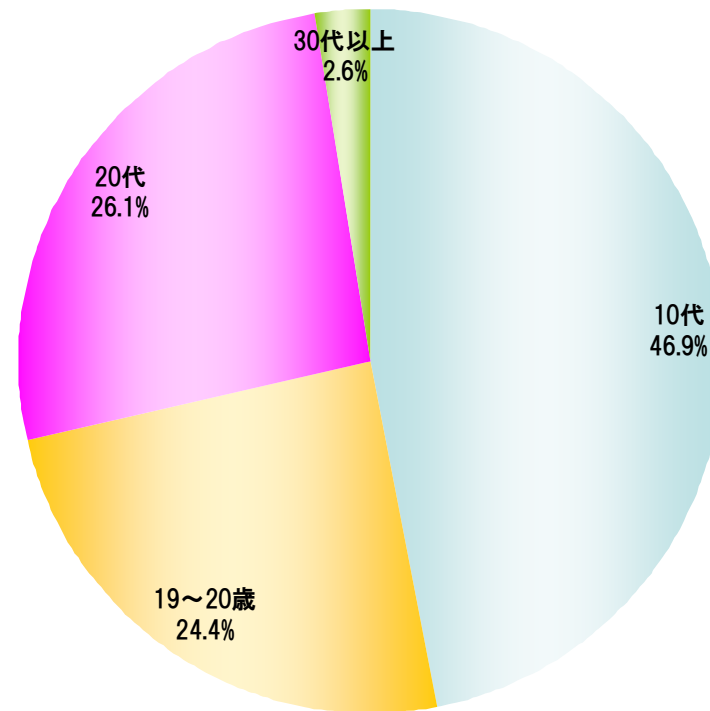
# Till CROOZブログの特徴

CR00Zブログは90%を女性が占める女性向けメディアです。  
今や、若い女性の流行発信源となっております。

性別属性



年代別属性



※9期10月末日時点の割合になっております。



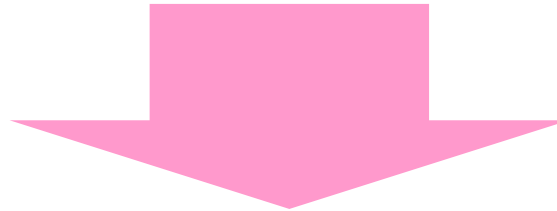
# Til CROOZブログの紹介



※上記イメージは全てCROOZブログ (<http://blog.crooz.jp>) より引用しております。

# Till 今期の基本方針

①選択と集中戦略②焦点絞込戦略③技術力の強化を徹底。  
中期的に安定した高い利益率を確保いたします。



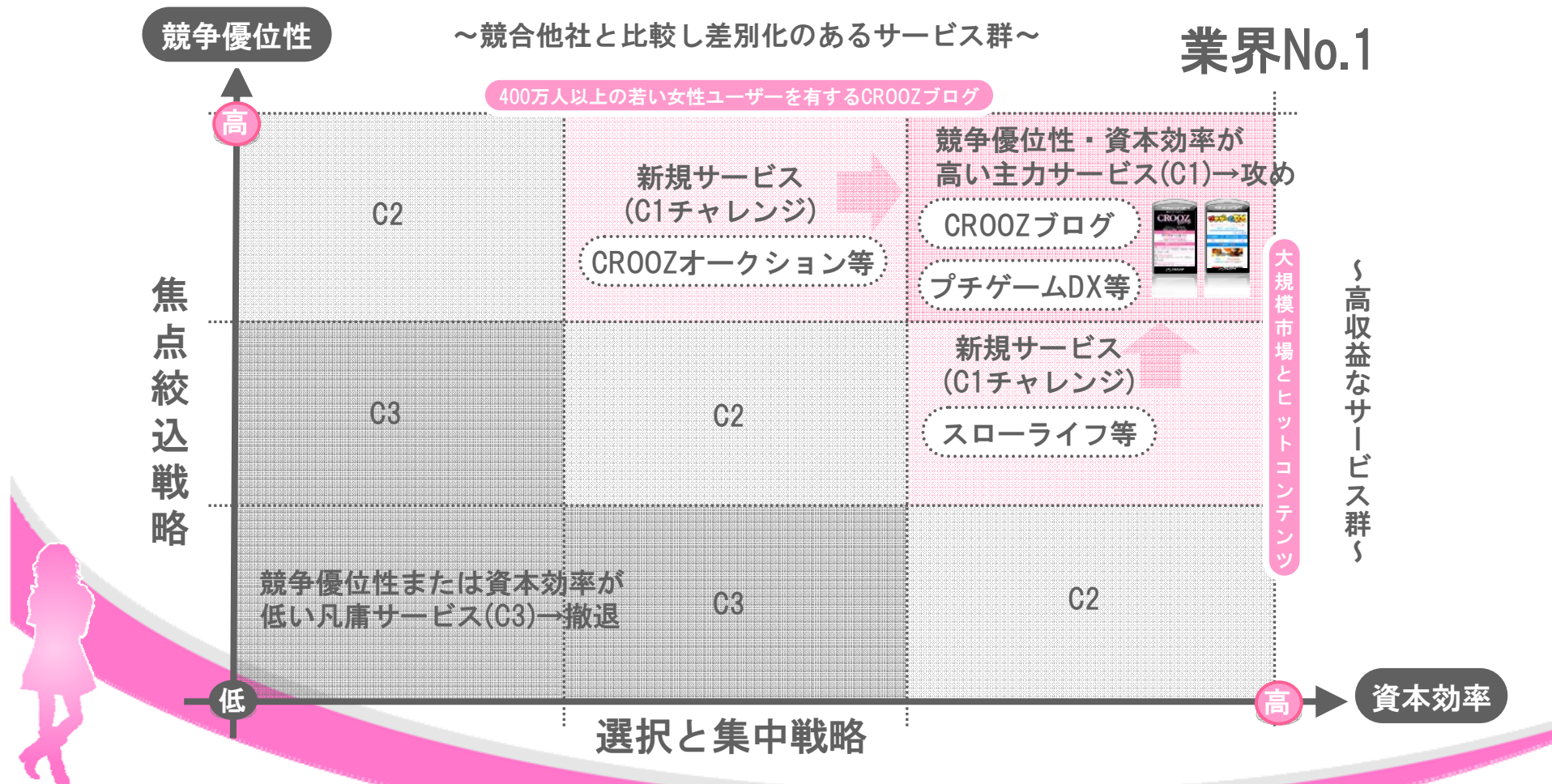
## 全体方針

- ▶ 4Cプログラムを制度化し、売上と利益の最大化  
※4Cプログラムは、より資本効率の高いコンテンツへの選択と集中戦略、  
焦点絞込戦略を明文化した社内の独自制度です。
- ▶ コンテンツの運営システム及び業務処理システムを一新  
※開発生産性向上を目的にシステムを全面リニューアル。  
将来的なコスト削減、顧客満足度向上に繋がる社内システムです。
- ▶ 企画職を廃止し、全ての事業担当者を技術者へ育成
- ▶ SEOの強化
- ▶ ユーザーの属性を収集しその属性に応じたサービスを提供
- ▶ 広告販売は自社メディアのみに注力

# Till 重要方針

競争優位性・資本効率の最大化 = 4Cプログラム  
 選択と集中戦略、焦点絞込戦略を徹底します。

4Cプログラム (CROOZ Concentration in Core Competence Program) C1:攻め C2:維持 C3:撤退



# TII 通期業績見通し

資本効率の高い有料コンテンツの課金収益及びCROOZブログの会員の伸びが継続しており広告収入が堅調に推移。

※平成21年10月13日付けで、営業利益および経常利益を上方に修正し、特別損失の発生に伴い税引後当期純利益は下方に修正しております。

(百万円)	8 実	期 績	9 見	通 し	増 減 率	主 な 内 容
売 上 高	3,182		3,600		13.1%	
営 業 利 益	188		300		59.6%	資本効率の高いC1の有料会員数及びCROOZブログが堅調に推移することで大幅な増益見込み。下半期は将来的な成長をみこし多くの集中投資を実施予定。
経 常 利 益	195		310		59.0%	
税 引 後 当 期 純 利 益	101		-80		-	4Cプログラムに則り、資本効率の低いC3を減損処理及び除却。また、社内システム全面リニューアルに伴う除却の発生により特別損失426百万円を計上。

※8期はモバイル事業単体の実績になり、(株)ペインキャリアジャパンの業績を省いております。

# Till 業績進捗

下半期は、資本効率の高いC1に絞ってさらに積極的に投資を行い、将来的な収益の成長を大きく加速させます。

(百万円)	通見 通し	第2四半期 実績累計	進捗率	主な内容
売上高	3,600	1,929	53.6%	
営業利益	300	243	81.0%	4Cプログラムを開始し資本効率が向上。収益性の高いC1の有料会員数及びCROOZブログの広告収入が堅調に推移していることで、高い進捗率を実現。
経常利益	310	262	84.5%	
税引後 当期純利益	-80	-121	-	4Cプログラムに則り、資本効率の低いC3を減損処理及び除却。また、社内システム全面リニューアルに伴う除却の発生により特別損失426百万円を計上。

# Till 株主還元方針

中期的な株価上昇 + 原則毎期待当

本質的な企業価値の向上に注力

本業による利益をベースに配当額を算出



# Til 配当額の推移

株主様への利益還元を重要な課題と考え、配当性向は連結当期純利益の30%を目処として、配当額の増大に努めます。

※6期に上場、翌期以降毎年株主様への配当を実施しております。

6期 2月14日 ヘラクレス上場	当期純利益	1株当たり配当	配当総額	配当性向
7期	166百万円	1,800円	60百万円	40.4%
8期	106百万円	900円	24百万円	34.0%
9期 (見込)	△80百万円	900円	24百万円	-



# Till ご注意

本資料には、当社の中長期的計画、見通しが含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、様々な要因に伴い変化し得る可能性があり本資料のみに全面的に依拠する事は控えるようお願いいたします。

